

2020年 新春に贈る . . .

八木啓代トークライブ Vol.3



- * 日本に先だって 70 年代から新自由主義を導入した国の末路は？
- * 最貧国から経済絶好調にまで持ち上げた大統領はなぜ失脚？
- * 森友・甘利・桜を見る会 . . . なぜ、特捜は動かない？

昨秋、日本に立て続けに飛び込んできた、ラテンアメリカ各国の政変や暴動のニュース。地球の裏側で今、なにが起こっているのか。

実は、ラテンアメリカを見ることで、米国の財界や政治の本音が丸わかりになる。

そこから読み解ける、日本と米国の関係とは？

陸山会事件や森友事件、さらに「桜を見る会」事件の背景も、どうなっているのか？

日本の報道だけではぜったいにわからない、もやもやする時事ネタを、中南米事情と検察問題に精通する八木啓代さんに語り尽くしていただきます！

【八木啓代プロフィール】

大阪出身。メキシコ留学中に歌手としての才能を認められてクラシックを学ぶ一方、メキシコ・キューバ、中米各地を放浪し、ガイドブックの執筆に加わるなど、バックパッカーとして伝説的な存在になる。1987年には、日本人としてほぼ初めて、キューバ一周自由旅行を敢行。日本で初めてのキューバガイドブック「地球の歩き方キューバ編」執筆。またこの頃がピュラーに転向し、メキシコシティとキューバ・ハバナを拠点に作曲やソロ・ヴォーカリストとしての活動も開始。現地でのCDリリース始め中南米各地での公演活動も多く、いずれも高い評価を得ている。著書も多く、「禁じられた歌（晶文社／日本図書館協会選定図書）」、「ラテン女のタフで優雅な生き方（大和出版）」、「危険な歌（幻冬舎文庫）」、「喝采がお待ちかね（光文社文庫）」、「ラテンアメリカくいしんぼひとり旅（光文社文庫）」、「MARI（幻冬舎）」、「ラテンに学ぶ幸せな生き方（講談社+α新書）」を上梓。共著に「キューバ音楽（青土社）」、「検察崩壊 失われた正義（毎日新聞社）」、「リアルタイムメディアが動かす社会（東京書籍）」などがある。



日 時 2020年1月5日(日) 14:00～16:00

会 場 六甲道勤労市民センター5F 会議室 E
(JR 六甲道駅南接)

参加協力金 1,000 円

主 催 三木芳音

お 申 込 み

☎電話
090-6066-3567 (平位)

✉メール
info@mikiroon.com